

「思いがカタチになってる？指針のたたき台（第2案）」の確認

手ごたえ・評価！

スムーズに読めました。うまくまとまっていると思う。

市民活動センターのHUB機能には期待。

こうしたらもっと良くなる・改善！、疑問点

<第1章「協働」に関する基本的内容>

P2 「公助」は“地域福祉計画”に定義があるため、そろえた方がよい

P2 (2) 安城市の協働によるまちづくり 下から2行目「～まちづくりに取り組む、」の「、」は消したほうがよい。

P4 協働の担い手の①～④の中で社協はどこに分類されるか。

P9 図-3において、団体同士の協働はどこにあてはまるか。

P12 団体主導の委託事業とはどのようなものか。

P12～14 グラフ中の「※事業共催は0」等と【団体主導の事業例】等の横の「※一部を抜粋」の※マークをどちらか変えた方がよい。同じページ内に※が2つあるため分かりづらい。

P12～14 4者の協働の事業はどこに分類されるか。例えば、安城市のある課から委託を受けていて別の課から補助を受けて行っている事業等。

P13 双方主体の事業例にて交通安全推進協議会事業が含まれていて、安全・安心なまちづくりの分野の事業が含まれていないのは何か理由があるのか。

<第2章「協働」を推進するために>

P15～17 アンケートからの現状分析は小見出しを書いた方が読みやすい。

P19 グラフにて市民が「安城市と市民との協働が望ましい」と考えている活動が分かり興味深い。また、サンクスフェスティバルのアンケートにて分かった「自治基本条例、市民参加条例、協働の認知度が低い」という調査結果を載せてもよいのでは。

P31 「社協」の省略は分かりづらい。

P31 ダイアグラムを差し込む場所は今のままでよい？P31をイメージしながら第3章を読めるとよいと思う。現状だとダイアグラムが唐突に登場するため、導入の文章を入れてはどうか。

P31 「推進体制のイメージダイアグラム」は第3章の①ひと②場所③お金④情報の全てに関連した図であるため、それぞれの頭に「P31推進体制のイメージダイアグラム参照」と記載した方がよいのでは。

<第3章 持続可能な協働推進のしくみ>

P33,34 コーディネーターについて、社会福祉協議会ボランティアコーディネーター、生涯学習コーディネーターの他に社協の中には地域福祉活動コーディネーターがいます。

P33,34 安城市にその他のコーディネーターはいないのか。

P41 □の中の文章は読みづらい。組織名が長い。P31の「推進体制のイメージダイアグラム」と照らし合わせて読めるとよいのでは。

<第4章 協働に関する指針 その先へ・・・>

P44 下から4行目「～地縁型コミュニティ」はコミュニティのニが抜けている